

2017年5月7日(日)朝10:10
5月第1共同主日礼拝式説教

主の復活節第4、オリーブ会等
日本アライアンス庄原基督教会

説教題：第7のラツパ;バビロン倒壊

聖書:ヨハネの黙示録 14章8節

＜口語訳＞

新約聖書400頁

ヨハネの黙示録 14章8節

＜新共同訳＞

新約聖書468頁

ヨハネの黙示録 14章8節

＜新改訳第3版＞

新約聖書491～492頁

ヨハネの黙示録14章8節

＜塚本訳＞

新約聖書806頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◇ヨハネ黙示録1章は、神の御子の再臨信仰と神の御子の愛、2章～3章は、7つのアジアの教会への手紙、4～5章は、仔羊(羔羊)礼拝と天の大讚美、6～9章は、巻物開封、聖徒の戦い、10章は、神の恵みの啓示と審判、11章は、主の王即位と24人の長老の神礼拝、12章は、女性及び天使ミカエルと龍(悪魔・サタン)との戦い、13章1～10節は、龍(悪魔・サタン)礼拝を求める第一の獣との、11～18節は、第二の獣との戦い、1～5節は、天での小羊なる主への大讚美、6～7節は、神の福音の宣告と地上の諸国への裁き宣告の箇所です。
- ◇ヨハネの黙示録14章8節は、バビロン倒壊の宣告です。

本論；

◇本日、ヨハネ黙示録第14章8節から主の使信に思い・心をとめます。

◆**黙示録14章8節**；ヨハネは、**天の使いがバビロン倒壊の宣言**をする幻を啓示された。

◇8節；塚本訳◆**バビロン倒壊の予告**
{**第三の異象**}

「8 するともう一人(他の)、第二の天使が(これに)続いて言うた、「**倒れた、倒れた、大なるバビロンが！その淫行の憤怒の葡萄酒をあらゆる国民に飲ませた者！**」」と、ヨハネは、**バビロン倒壊の第3の幻**を啓示された。

◇8節；ヨハネは、「**第二の天使**」が、「**その淫行の憤怒の葡萄酒をあらゆる国民に飲ませた者**」、「**大なるバビロン**」が、「**倒れた、倒れた**」と告げる幻を記録しました。

⇒「**第二の天使**」は、6～7節の**第一の天使**とは別の**天使**です。

⇒彼の役割は、「**大なるバビロン倒壊宣言**」です。

⇒「**大なるバビロン**」とは、イスラエルを長く支配し、教会にとっては、ヤコブ、パウロ、ペテロ等の**使徒たち**や**多くの信仰者**を**殉教**させた者！

- ⇒「**その淫行の憤怒の葡萄酒**」とは、「**己が淫行の葡萄酒**」と「**神の怒の葡萄酒**」を結びつけた表現であるとKK師がご指摘のように、「**己が淫行の葡萄酒**」は、当時の**ローマ大帝国の道徳的大腐敗**と**偶像礼拝**を表現し、「**神の怒の葡萄酒**」は、この罪に対する「**神の怒り**」を表現しているのです。
- ⇒「**神の怒り**」が、**8節**では、「**その淫行の憤怒の葡萄酒**」と、「**葡萄酒**」が、**裁きのしるし**となっています。
- ⇒「**葡萄酒**」は、イスラエルにとって、**3大祭りの最後**を飾る**仮庵祭**の時、収穫して神にささげる**葡萄**をもって造られる**日常の飲料水**であったのです。
- ⇒「**日常の飲料水**」が、**自然発酵**して、「**葡萄酒**」となる要素はあったのですが、長期保存のため、「**葡萄酒**」にすることも、当然考えられるのです。パウロは、「**葡萄酒**」を**テモテ**の胃の回復のため、少量飲むように勧める程、有用な活用ができるものだったのです。
- ⇒「**神の怒の葡萄酒**」に**変えた**のは、**ローマ大帝国の道徳的大腐敗**と**偶像礼拝**です。

- ⇒ **神の怒りの幻**をヨハネにお見せになった**神の意図**は、「**道徳的大腐敗と偶像礼拝の罪**」からの決別なのです。
- ⇒ **ヨハネ黙示録13:10**や**14:12**に示されている通り、**神の使徒ヨハネ**を含む地上の教会に求められているのは、「**神信仰と忍耐**」です。
- ⇒「**宗教改革者マルチン・ルター**」から始まる人々は、「**隠れの神**」を見ていましたが、人間の「**道徳的大腐敗と偶像礼拝**」に対する「**神の義の怒り**」を「**神の御子への信仰告白**」によって、「**神の赦しの義**」へと変え、罪を犯し続ける者さえ、「**神の義**」の衣を着せ、覆い隠し、**真の神の義・救い主イエス・キリスト**を通して罪人である者を見て下さる、これが、**神の義・愛の神の恵み**です。
- ⇒「**忍耐**」も、「**神の赦しの恵みの下**」にとどまりつつけることで、我慢することが中心ではなく、あの殉教者とされる144,000人の人々が**神に大讚美**ささげ、**神礼拝**に生きたように**神に対して生きる**(ローマ6:11)が大事です。
- ⇒「**大なるバビロン**」は、「**神なき生活**」の支配者であり、**神信仰者**にも**潜む誘惑者**です。

結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◇ヨハネ黙示録1章は、神の御子の再臨信仰と神の御子の愛、2章～3章は、7つのアジアの教会への手紙、4～5章は、仔羊(羔羊)礼拝と天の大讚美、6～9章は、巻物開封、聖徒の戦い、10章は、神の恵みの啓示と審判、11章は、主の王即位と24人の長老の神礼拝、12章は、女性及び天使ミカエルと龍(悪魔・サタン)との戦い、13章1～10節は、龍(悪魔・サタン)礼拝を求める第一の獣との、11～18節は、第二の獣との戦い、1～5節は、天での小羊なる主への大讚美、6～7節は、神の福音の宣告とで地上の諸国への裁き宣告の箇所です。

◇ヨハネの黙示録14章8節は、バビロン倒壊の宣告です。

⇒「**神の栄光の御座**」での「**24人の長老**」と「**4つの生き物**」の**神礼拝・神讚美**は、「**主キリスト・イエス様が天のみならず、地の上・この世でも、王となり給うたことを感謝**」する結末を与えられています。

⇒地上に今生かされています私たちも、「**神礼拝・神讚美**」は、この幻のように実現することを信じて、「**主がこの世の王となり給うたことを感謝**」すると、告白しています。

⇒「**死**」という最大の苦難を思う前に、「**恵みの約束の神**」に思いを向けたいと、願います。

⇒ヨハネ黙示録は、「**苦難**」先にある「**神の救い**」という「**神の恵み**」を見せ、また指し示します。

⇒「**龍(悪魔・サタン)**」は、「**神のようになる**」目的を放棄していませんで、「**天では**」、「**彼らの(いる)場所が無くなった**」ののですが、投げ落とされた地上で、「**神礼拝者・神信仰者**」を「**訴える本務**」を放棄することはしません。

⇒「**龍(悪魔・サタン)**」は、部下の「**第一の獣**」や「**第二の獣**」により、**神礼拝者のいのち**を狙う。

⇒すでに多くの人々が、**神の御子、主イエス・キリスト様**、やその弟子たちや時代の中で様々な苦難を乗り越えて来た人々によって**に神の福音**は聴かされてきたのです。

⇒「**神の怒り**」は、「**その淫行の憤怒の葡萄酒**」を飲む「**道徳的大腐敗と偶像礼拝**」の「**大なるバビロン・ローマ大帝国**」に向けて、容赦なく下ることが宣告されています。そこには、妥協の余地はありません。

⇒ヨハネを始めとする教会は、**神の赦しの恵み**に与り、「**神の義の衣**」なる「**神の御子の義**」を着せられたのですから、**神信仰と神の恵みの下にとどまり続ける忍耐**によって、**神に対して生きる者**でありたいと願います。

⇒**ローマ6:11**塚本訳を味わいましょう。

「だからあなた達もそのように、自分を罪との関係では死んだ者、神との関係ではキリスト・イエスにあって生きている者と考えよ。」